

環太平洋シンポジウム  
熊野信仰とは何か

報告者

斎藤恵美（奈良女子大学特任助教）

「熊野の神々の正体—常世信仰を手がかりに」

佐藤弘夫（東北大学大学院文学研究科長）

「名取老女伝説の誕生—熊野信仰の東国伝播」

小路田泰直（奈良女子大学副学長）

「なぜ我々は大和・紀伊半島に関心をもつのか—その地政学」

コメンテーター

西谷地晴美（奈良女子大学文学部教授） 司会を兼任

アントニウス・プジョ（インドネシア国立アイランガ大学人文学部教員）

永井隆之（台湾国立政治大学日本語文学系助理教授）

日時： 2016年9月25日（日）

午後1時30分～午後5時

場所： 奈良女子大学文学系 S棟 228教室

大和は国のまほろばという言葉はよく聞く。しかし「なぜ」、  
また「如何に」大和が国のまほろばになったのかは  
あまり問われない。それを問いたい。  
そのために、大和をその中央部に抱える紀伊半島を中心に  
全国に展開した熊野信仰について、  
今回は思索をめぐらす。



主催 奈良女子大学

連絡先 奈良女子大学社会連携センター

E-mail: kouza@jimu.nara-wu.ac.jp Tel: 0742-20-3734